

2020年度 社会福祉法人信貴福社会 事業報告書

1. コロナ禍における法人運営について

昨年末から続く新型コロナウイルス感染症によって、これまでに経験したことがない事業運営となりました。私たちの仕事が、緊急事態宣言下であっても事業の継続を求められる社会的に重要な事業であることを改めて認識することができました。また、医療・保健の現場と同じく社会福祉事業も平時からぎりぎりの体制で運営せざるをえず、非常時に対応できる人員、設備、財政基盤がないことも明らかになりました。

4月に理事長を本部長とするコロナ対策本部を設置し、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの策定、新たなBCP計画（事業継続計画）の検討に入りました。利用者が日常生活を安心して継続できるよう、感染防止対策を徹底し、通常どおりの事業所運営に努力してきました。利用者・家族以上に、職員は自分が感染を事業所に持ち込んでしまわないかという不安を抱えながら、公私ともに感染予防対策を徹底するなど努力してきました。法人としては職員の雇用を守る立場から、特別休暇の付与や雇用調整助成金等の制度も活用し職員の所得補償を行ってきています。年度末には全職員に対する感謝と慰労の気持ちから特別手当を支給しました。利用者も余暇支援による外出や施設行事がなくなるなどストレスを抱えながらの生活ですが、職員がいろいろと知恵を絞りメリハリをつけた支援に取り組んでいます。利用者の就労支援においても下請け仕事の確保、新たな自主製品の開発、販路拡大などの努力によって全体として工賃保障を維持することができています。

現在、大阪府では三次救急を停止する病院が出るなど医療崩壊が起こっており、施設利用者や家族が感染しても入院できないという非常事態となっています。引き続き感染防止対策を強化し、感染発生に備えた準備を進めます。

■法人組織体制の拡充、強化

- ・常任理事会、管理職会議を中心に法人事業管理に取り組んできましたが、管理職会議で積極的に意見交換し、一人一人が主体的に参画し、課題解決に向けた認識を一致させ行動していくことを確認してきました。
- ・職員定着に向けて経営職・管理職が常に現場職員の状況を把握し、適切な指導、援助を行っていただけるよう努力してきました。
- ・顧問会計事務所による居宅事業管理者を対象にした財政会議を定例化し、すべての事業所長による次年度事業計画案、予算案の作成につなげてきました。
- ・非常災害対策計画については、今期感染症における事業継続計画も併せて検討してきました。

■利用者支援の向上をめざす事業・実践

- ・コロナ禍の中で多くの行動が制限され、ストレスを抱える利用者が少しでも楽しさを実感できるよう、施設やホームでできる活動を工夫し支援してきました。
- ・利用者の高齢化や、新たな新卒者を受け入れてくる中で、より一人一人にあった日中活動支援のあり方を検討し、通所施設利用者の集団編成や班の位置づけを見直し、今年度の班編成に移行しました。
- ・各施設、班がより高い工賃を支給できるよう取り組み、成果を上げてきました。
- ・利用者の暮らしの場のあり方について検討委員会を設置し3年目となりますが、利用者・家族の実態から

すべての利用者にとっての今後の暮らしについて合同ケース会議を通して、職員の課題共有に取り組みました。具体的な事業計画の提案は次年度の課題となります。

・職員全体で利用者支援の専門性を高めていく目的で、外部専門家による実践検討や、虐待防止研修などに取り組んできました。

■人材確保・育成・定着の推進

- ・社会福祉士実習生、福祉職場実習の受入に取り組みました。
- ・研修計画に基づきキャリア別研修に取り組みました。
- ・理事会、常任理事会、管理職会議において、パワーハラスメントへの対応や働きやすい職場風土づくりに向けた議論を重ね、全職員に向けて法人としての指針について説明しました。管理職へのパワハラ研修と「働きやすいチーム作りを考える」というテーマで、全職員への研修を3回に分けて実施しました。
- ・働き甲斐、定着につながるさらなる労働条件の改善に向けて、法人職・一般職・非常勤職員の均衡待遇の観点から福利厚生改善、就業規則、給与規程等諸規則の一部改定を実施しました。

■地域における障害者支援のネットワークづくり

- ・家族会と連携し、地域での様々な障害者運動に参加し、学習を重ねてきました。
- ・八尾作業所等連絡会としてコロナ対策に関する要望書を市長あてに提出し、障害福祉課と懇談をもちました。
- ・自立支援協議会における活動を通して当事者、関係者の声が反映されるよう取り組んできました。
- ・介護者検診（市内障害者施設等利用者家族の健康診断一市社協補助事業）を実施しました。
- ・市民広場や商店街活性化の実行委員会へ参加し、地域との関係を広げてきましたが、今年度はコロナ禍の中で多くの取り組みが中止となりました。

■施設・設備整備

- ・施設建物長期修繕計画及び計画に沿った資金積立を実施しました。
- ・つくしんぼ作業所大規模修繕工事、作業環境改善工事を実施しました。2021年4月末完了)
- ・ひばり作業所の作業室一部改修工事を実施しました。
- ・グループホームの家屋改修、設備の更新を実施しました。（老朽化した固定資産物品、設備の更新）
- ・新型コロナ感染症包括支援補助金を活用しすべての事業所において感染防止対策に必要な備品・消耗品を整備しました。

2. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施

(1) 理事会の開催

第1回理事会 4月1日(水)	第1号議案 経営職による職員へのパワーハラスメントの疑いについて
第2回理事会 4月10日(金)	第1号議案 経営職による職員へのパワーハラスメントへの対応について

<p>第3回理事会 6月2日(火)</p>	<p><業務執行状況報告> 1) コロナ対策と事業運営状況の報告 2) その他の報告事項</p> <p><審議事項> 第1号議案 2019年度監事監査報告について 第2号議案 2019年度事業報告及び決算報告について 第3号議案 社会福祉充実計画案について 第4号議案 理事の一部改選候補者案について 第5号議案 定時評議員会について</p>
<p>第4回理事会 10月15日(木)</p>	<p><業務執行状況報告> 1) 中間決算状況の報告 2) 健康対策会議報告 3) 新型コロナウイルス感染症対策の状況報告 4) 文書保存規程の制定について</p> <p><審議議案> 第1号議案 つくしんぼ作業所大規模修繕工事に伴う入札関連事項について</p>
<p>第5回理事会 11月30日(月)</p>	<p><審議議案> 第1号議案 つくしんぼ作業所大規模修繕工事入札結果の報告について</p>
<p>第6回理事会 2月24日(水)</p>	<p><業務執行状況報告> 1) コロナウイルス感染症対策について 2) 役員、評議員、評議員選任・解任委員改選等の手続きについて 3) 法人運営の在り方について</p> <p><審議議案> 第1号議案 2020年度補正予算案(決算見込み)について 第2号議案 2021年度事業計画案について 第3号議案 2021年度当初予算案について 第4号議案 役員等賠償責任保険契約の更新について 第5号議案 就業規則等の一部改正案について</p>

(2) 評議員会の開催

<p>定時評議員会 6月20日(土)</p>	<p><報告事項> 1) 2019年度監事監査報告について 2) 新型コロナウイルス感染症の影響について 3) 社会福祉経営全国会議加盟について</p> <p><審議議案></p>
----------------------------	--

	第1号議案 2019年度事業報告について 第2号議案 2019年度計算書類及び財産目録の承認について 第3号議案 社会福祉充実計画案の承認について 第4号議案 一部理事の解任及び選任について
第2回評議員会 3月9日(火)	<報告事項> 1) 新型コロナウイルス感染症に係る状況について 2) 役員、評議員、評議員選任・解任委員の改選手続きについて <審議議案> 第1号議案 2020年度補正予算案について 第2号議案 2021年度事業計画案について 第3号議案 2021年度当初予算案について 第4号議案 就業規則等の一部改訂案について

(3) 監査の実施

<内部会計調査>

調査者名	調査実施日	調査項目
税理士法人 中央会計	2021年 5月19日	決算帳票、会計帳簿全般
	2020年 10月23日	上半期会計帳簿全般
	2021年 1月19日	源泉徴収、年末調整

<監事監査>

監事名	監査実施日	監査項目
津田耕一 監事 中村公三 監事	2021年 6月 4日	法人定款第18条第1項の規定に基づき 2020年度事業に係る理事の業務執行の 状況及び法人の財産の状況

3. 運営協議会の開催

第1回運営協議会 11月19日(木)	<議題> 1) 八尾市の障害福祉の状況についてと意見交換
-----------------------	---------------------------------

4. 職員の研修状況

階層別内部研修	研修内容
新任研修(法人職・一般職・ 一部非常勤職含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の歩みと理念 ・私たちの仕事と就業規則 ・障害者の日中を支える日中事業の役割/生活支える居宅事業の役割
2～5年目(法人職・一般 職・非常勤職)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉制度と「きょうされん」の役割 ・利用者支援の見方—障害者の自立を考える(実践研レポート)

6年目以降（法人職・一般職・非常勤職）	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念と福祉制度、職員の役割 ・実践を語ろう「私にとっての利用者支援」
責任職	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の重い人の支援と求められる力（集団実践を進めていくための専門性・利用者支援に生きるケース会議） ・班運営と職員集団の役割
主任・副主任・管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に必要な運営管理の力 ・風通しの良い職場づくり
経営職・管理職	<ul style="list-style-type: none"> ・風通しのいい風土づくりと管理職の役割 ・社会保障政策に対峙する社会福祉法人のあり方～コロナ体験を踏まえて
法人職・一般職	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉動向と地域共同について ・児から者へ～本人・家族を支える支援者の役割
全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・他法人3施設見学研修 コロナ禍で中止
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・発達診断研修
各種外部団体研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・全国及び大阪府社会福祉協議会・大阪府・八尾市・社会福祉経営全国会議・社会福祉施設経営者同友会・全国社会福祉施設経営者協議会・授産施設協議会・きょうされん・大阪障害者センターなど

5. 実習生の受け入れ

社会福祉士実習生（1か月） 佛教大学1名、立命館大学1名

常磐会短期大学学生実習受入

八尾支援学校高等部実習受入（つくしんぼ）、その他の実習についてはコロナ禍のため中止

6. 事故・苦情報告

通所施設	ひばり作業所	ワクワクセンター	つくしんぼ	りんごの木
事故件数（昨年度）	25（3）	1（1）	0（2）	0（0）
ヒヤリ・ハット件数（昨年度）	107（84）	58（60）	50（26）	25（22）
苦情・要望等件数（昨年度）	5（1）	0（7）	1（1）	5（3）

*活動センター ヒヤリハット3件 事故0件

居宅事業	ショートステイ	グループホーム	放課後デイ	ヘルパーステーション
事故件数（昨年度）	2（3）	9（6）	0（3）	1（1）
ヒヤリ・ハット件数（昨年度）	10（13）	15（41）	189（124）	29（53）
苦情等件数（昨年度）	4（2）	3（5）	0（2）	7（5）

7. 通所施設の状況

①障害支援区分（利用延べ人数平均）

内 訳	ひばり 生活介護	ひばり 就労継続	ワクワクセンタ ーひばり	つくしんぼ作 業所	りんごの木
平均支援区分	5.7	4.8	5.7	4.1	4.2
(前年度)	5.7	4.9	5.7	4.1	4.5

②利用状況（定員）

通所施設	ひばり(60)		ワクワク(35)	つくしんぼ(20)	りんご(20)
事業種別	生活介護	就労継続 B	生活介護	就労継続 B	就労継続 B
開所日数(年)	240	240	240	259	240
利用率(%)	86.2	72.8	85.7	79.7	84.2
前年度利用率	90.0	76.0	87.4	87.2	78.6

③工賃支給状況

通所施設	ひばり		ワクワク	つくしんぼ	りんご
事業種別	生活介護	就労継続 B	生活介護	就労継続 B	就労継続 B
月平均工賃(円)	2,712	12,141	5,353	53,970	28,385
(前年度)	1,728	15,425	5,610	54,009	26,942
最高工賃(円)	4,020	20,450	11,450	76,139	52,395
(前年度)	4,810	21,850	10,920	75,065	48,759

8. 居宅事業の状況

①グループホーム

ホーム毎の概要 ※2021年3月31日現在

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	合計/平均
開所歴：年目	26	24	24	4	21	15	15	12	12	8	
入居者数：人	4	7	4	3	6	5	5	4	5	3	46人
平均年齢：歳	58	59	52	55	59	52	45	50	48	50	53歳
平均区分	5.6	5.6	5.3	5.7	5.2	4.4	4.0	4.5	4.4	6.0	5.07
年間利用率：%	97.7	99.7	96.1	99.9	99.1	95.5	98.7	97.1	97.9	98.5	98.0%
365日利用：人	2	6	3	1	3	3	1	2	3	1	24人
夜間体制：人	2	3	1	1	2	2	1	1	2	1	16人

月毎の利用率：% ※2020年4月～2021年3月の平均値

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
99.9	98.1	99.3	99.8	99.0	99.5	99.5	95.1	96.6	93.3	98.4	99.3	98.0%

通院支援の状況 ※2020年4月～2021年1月の合計

	精神科	内科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	その他	合計
定期受診	63	15	42	25	50	7	9	211件
定期受診外	1	19	11	10	4	4	5	54件
緊急	0	5	0	0	0	0	1	6件
合計	64件	39件	53件	35件	54件	11件	15件	271件

② ショートステイ事業「めろでい」

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均・総数
利用 人数	48 52	36 48	44 48	45 49	48 52	49 49	47 46	49 51	45 49	41 48	47 51	47 47	46 49
のべ 人数	195 230	154 233	206 233	200 234	200 235	221 207	241 244	216 218	219 208	195 199	209 216	237 219	2493 2676
平均 人数	6.5 7.7	5.0 7.5	6.9 7.8	6.5 7.6	6.5 7.6	7.4 7.6	7.8 7.9	7.2 7.0	7.8 7.5	7.2 7.1	7.5 7.4	7.6 7.5	7.0 7.5
利用 率	81.3 95.8	62.1 94.0	85.8 97.1	80.6 94.4	80.6 94.8	92.1 95.8	97.2 98.4	90.0 90.8	97.8 93.3	90.3 92.1	93.3 93.1	95.6 88.3	87.2% 94.0

③ 放課後等デイサービス事業「すきっぷ」

契約状況

	小学（地域）	中学（地域）	高等部	総数
前年度	8名（1名）	18名（3名）	30名	56名
今年度	8名（2名）	13名（1名）	28名	49名

利用状況

	開所日数	延べ定員	延利用数	利用率	平均人数	実人数
前年度	209日	3135人	2644日	84.3%	12.7人	56人
今年度	242日	2420人	2334日	96.4%	9.6人	48人

*昨年度：定員15名、今年度：定員10名

平均利用回数

	1回/週未満	1回/週固定	1回/週+α	2回/週以上
前年度	21.4%	48.2%	5.3%	25.0%
今年度	16.3%	51.0%	8.2%	24.5%

土曜開所

	内容	人数		内容	人数
7月	小中／夏遊びを楽しもう	7人	11月	小中／ダンス&お話タイム	5人
9月	高／外出：水呑地藏尊	5人	12月	全員／防災について学ぼう	5人
10月	高／ボッチャ・点心	8人	3月	高3／卒所式	11人

④ ヘルパーステーション「メロディ」報告

	利用時間		延べ人数	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度
移動支援	3696	6167	1703	2141
行動援護	6	87.5	7	112
居宅介護	2531	2529.5	1676	1667

⑤ 相談支援事業

ア) 障害者・児生活支援センター「あっぷる」

児（総数 96 件）	学前	小	中	高校	件数
障害の理解や対応	0	6	8	6	20
家族に関する相談	1	5	4	5	15
生活・進路に関する相談	1	4	3	21	29
余暇・放課後の過ごし方	0	6	7	10	23
学校生活の相談	0	0	2	1	3
各種制度の相談	0	0	0	1	1
医療に関する相談	0	2	1	2	5

者（総数 528 件）	在宅	デイ	通所	就労	件数
障害の理解や対応	18	2	50	6	76
家族に関する相談	24	2	67	9	102
暮らしの場の相談	7	0	67	6	80
居宅サービスの相談	15	2	52	4	73
日中活動の相談	8	4	47	4	63
余暇の過ごし方	8	0	48	4	60
収入に関する相談	3	0	19	1	23
医療に関する相談	13	3	28	7	51

認定調査	今年度 (2020)	昨年度 (2019)
件数（うち市外）	151 (43)	165 (14)

計画相談	今年度（2020）		昨年度（2019）	
	作成	モニタリング	作成	モニタリング
障害者	297	391	251	277
障害児	45	41	57	39

イ) 未来を拓くゼミナール（日中一時支援事業）

6月	今年度の予定 コロナ禍の交流	10月	必要な暮らしの場 (母親が施設・一人暮らしの事例)
7月	卒業後の生活を考える (18歳・支援学校高等部3年の事例)	11月	バス旅行(彦根・近江八幡)
8月	自立とは何かを考える (3人兄弟・母親が入院した事例)	12月	希望をもって生活する (親の希望とズレがある事例)
9月	選択と自己決定について考える (サザエ家、カツオの事例)	3月	日帰り外出(奈良散策)

ウ. 八尾・柏原障害者就業・生活支援センター

○実施内容

項目	2020年度	2019年度
登録者	352名	339名
新規相談者	62名	68名
新規登録者	60名	44名
相談件数	2,212件	2,441件
就職者数	28名	32名
定着支援回数	126回	178回
職場実習	12名	18名
職場訪問	152件	288件

○精神障害者ジョブガイダンス事業

参加者数 3名 *職場実習は参加なし

○障がい者雇用を考える集い

主催 八尾市、柏原市、大阪府総合労働事務所、八尾・柏原障害者就業・生活支援センター

日時 11月5日(木) アゼリア(柏原市)

参加者 28名 (企業5名、支援機関17名、その他)

テーマ 「わが社の障がい者雇用の取り組み～企業の一員として共に働く～」

○はたらく・くらすパワーアップセミナー(八尾市障がい者就労支援推進事業)

参加状況) やるきアップコース 就労移行 5名

しごとアップコース 就労移行 3名 就労継続B型 1名

○働く仲間のつどい(日中一時支援事業) 登録者 110名

実施回数 計7回(学習会4回、レクリエーション3回) 参加延べ人数 117名

⑥ 地域活動センターⅡ型「ひばり」

ひばり作業所、ワクワクセンターひばりを活用し、第3・第4土曜日に利用者の豊かな余暇活動の一つとして取り組んできました。地域の専門家の方々に協力いただいています。

今年度はコロナ禍による緊急事態宣言発出中は中止しました。

()は前年度

内容 / 項目	デイサー ビス	ウォーキ ング	お菓子づ くり①	お菓子作 り②	墨 絵	工作 / 園 芸	料 理
スタッフ	職 員	八尾山の 会	職 員	職 員	石見先生	坂先生 川江先生	岩井先生
延べ利用 者数(人)	73 (206)	65 (124)	40 (77)	34 (69)	34 (60)	43 (82)	36 (64)
実施日	第3土 曜・日曜、 第4日曜	第3土曜	第3土曜	第4日曜	第3土曜	第3日曜	第3土曜